

## 衛生委員会議事録（第 41 回）

日 時	2021 年 1 月 21 日 17:00	
場 所	ビデオ会議	
出席者	委員長	人事総務部 高野
	産業医	諏訪内医師
	衛生管理者	人事総務部 高野
	事務局	人事総務部 清水
	委員	情報システム室 田中、店舗マネジメント部 森野 マーケティング部 原口
議題	<p>(1) 休職者・労働災害・長時間労働者の報告</p> <p>(2) リモート・ワーク時の工夫</p> <p>(3) 健康経営について</p>	
決定事項・報告事項	<p>(1) 高野人事総務部マネージャーより、2020 年 12 月度について、休職者、長時間労働者、労働災害の状況について説明があった。</p> <p>(2) 各委員から、各部のリモート・ワーク時の労働環境の工夫について報告があった。主な工夫は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始業から就業までチャットツールを常時接続状態とし、常時メンバー間でコミュニケーションをとる機会を確保することにより、孤独感を感じないように工夫している。</li> <li>・ビデオ会議時など、自身の背景画像を工夫し、気分転換・コミュニケーションのきっかけとなるよう工夫している。</li> <li>・在宅時でも、部署内でオンライン飲み会等を企画し、コミュニケーションを図るよう工夫している。</li> </ul> <p>(3) 諏訪内医師より、健康経営についてご講話いただく。内容は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業における健康関連コストには、①アブセンティーズム、②プレゼンティーズム、③医療費、④傷病手当金、⑤労災手当金等がある。</li> <li>・①アブセンティーズムとは、病欠、病気休業にかかるコストをいう。</li> <li>・②プレゼンティーズムとは、疾病や健康リスクを抱えながら出勤、勤務し、業務遂行能力や生産性が低下するために失われるコストをいう。</li> <li>・プレゼンティーズムをはじめとして、目に見えないコストの部分が大きな部分を占めているのが現状である。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康関連リスクに関して、高リスクから低リスクに改善することにより、一人当たり 30 万円の損失削減につながると考えられている。</li> <li>・健康経営のため、経済産業省、厚生労働省、東京証券取引所、健康保険組合連合会等が認証制度を設けている。</li> <li>・健康経営を実践する企業の株価は TOPIX のパフォーマンスを上回るなど、従業員の健康にとどまらない影響を企業にもたらす。</li> <li>・健康へ投資することは、生産性をマネジメントすることでもある。健康管理を経営的観点から考え、戦略的に実践することが重要である。</li> </ul>
その他	なし